



あすなろ

東松島市立大曲小学校

学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

校内授業研究会『注文の多い料理店』

9日、5年1組で、国語科の全校授業研究会が行われました。教材は、宮沢賢治の『注文の多い料理店』。この単元では、物語の構成や表現の工夫を見付けて、作品のよさを解説することをねらいとしています。本校で取り組んでいる「思いや考えを生き生きと伝え合う子どもの育成」のために、国語の授業の在り方を全職員で考えています。5年生では、思いや考えをもたせるために、ノートやワークシートを活用した各活動を取り入れたり、学習に対する見通しを持たせるための紙板書の提示を行いました。また、対話活動に必要な力や学習方法を身に付けるために、少人数にグループによる意見交流の場を設定したり、語彙力を高めるために国語辞典の活用を図ったりしています。

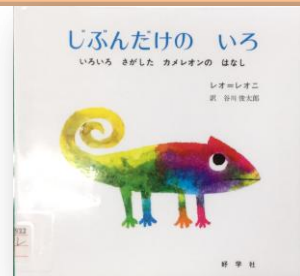
授業では、二人の紳士が、山猫にだまされながら、食べられそうになる過程を読み取りながら、『けっしてごえんりよはありません』、という言葉の意味を深く考え、注文の多い料理店の本当の意味について考えを進めました。児童は、紳士たちの反応・言動と戸に書かれた言葉の本当の意味をワークシートにまとめたり、ペアになって自分の考えを発表しながら意見の交流を図りました。児童は、紳士の愚かさや山猫のずる賢さ、そして結末に迫るストーリー展開の面白さ・作者の意図というものをよく捉え、活発に発表したり意見を交換していました。また、この単元学習期間、並行読書として宮沢賢治の作品についても読んでいます。

宮沢賢治の作品は子どもから大人まで楽しめる、メルヘンの世界と貧しい中で自分に厳しく夢に生きた、情熱の世界があります。御家庭でも一緒に読まれてはいかがでしょうか。また有名な、『雨ニモマケズ・・・』の詩の朗読、暗唱などに挑戦してみるのもいいでしょう。*写真は授業の様子です。



読書の秋

石巻かほく9月27日版に、本校の山館由紀先生がお勧めの本が紹介されました。是非、読んでみてください。皆さんの『私の一冊』はどの本でしょうか。



東松島市大曲小学校 教諭 山館 由紀

「個性とは何だろう。」

「個性を生かす教育」が求められている教育現場において、私はこの根本的な問いに直面していました。本書はそんなときに出会った一冊です。

主人公はカメレオン。その色は時と場所所で変幻自在。それゆえ彼は悩みます。自分の色とは？

自分の色探しの途中で出会った年上のカメレオンはこう言います。「ぼくたちいっしょにいてみないか？」二人は一緒に緑、紫、黄、そして水玉模様へ。そして「めでたしめでたし。」と物語は静かに終わります。

この物語は「主人公が自分と同じである友を見て安心できた」。素直にそんな物語とも読めます。

しかし私はこうも思うのです。友と過ごす主人公は気づいたのではないかと。

多様な環境に合わせられることも個性に違いない。何より自分が苦しみ悩んだときに、そっと寄り添ってくれる友がいる自分という存在そのものが、紛れもない個性だということ。

これはあくまで私個人の解釈です。余分な描写が一切ない本書は、想像の世界を無限に広げてくれます。皆さんも自分だけの個性豊かな感性でレオレオニの思いを想像してみてください。そんな一冊です。

【レオ・レオニ著・谷川俊太郎訳 じぶんだけのいろ】

体力・運動能力向上出前研修会“先生もチャレンジ”



平成27年度宮城県教育委員会主催，体力・運動能力向上出前研修会が，9月30日（水）の放課後，本校講堂で行われました。講師に東松島市立矢本東小学校の鈴木 義和先生をお招きし，大曲小学校教員が講義と実技の研修を受けました。講義では，「宮城県の児童の体力・運動能力の現状について」今年度の結果から，

「県内全般に言えることは，全体的に運動不足の傾向があり，50m走と20mシャトルランの県平均値は緩やかに向上しているが，全国平均値を下回っている。握力とソフトボール投げは全国平均値を上回っているが，近年低下が続いている。1週間の総運動時間は，全国平均値と比較して男女ともに短い。特に，全国的に，投げる力の低下が大きな課題とされています。」というお話がありました。

本校でも，震災後の環境の変化による運動機会の減少も課題としてあげられており，「気軽に取り組み，子どもたちが楽しみながら体力向上につながる運動」というテーマで実技を体験しました。

今後，クラスの実態に合わせ，体育の授業や遊びの中に取り入れていきたいと考えています。工夫次第で，時間，場所，道具などがなくても子どもたちの体力向上の糸口を見いだせることを体感した実りある研修でした。いろいろな鬼ごっこやだるまさんが転んだ・・・など12の種目を体験しました。

例えば，平均台の上にランダムに1列に並び，落ちないようにしながら条件を付けて並び替えるゲームではまずは児童に考えさせることで，

◆隣の人にしゃがんでもらい，その上をまたいで移動する。

◆隣の人と手をつないでバランスをとりながら，場所を入れ替わる。などの方法が出てきます。すれ違うときに両側の人に落ちないように支えてもらうなど，上手にすれ違うことも発見でき，楽しみながらバランス感覚，協調性を養うことができます。

※御家庭でも，保護者や祖父母の方が小さい頃にやった遊び（鬼ごっこ，だるまさんがころんだ，石けり，お手玉，めんこ，ベーゴマなど・・・）など話題にしてみてもいいでしょうか。学校内でもいろいろな遊びを通して子どもたちの体力向上につなげていきたいと考えています。

*写真は研修会の様子です。先生たちも汗を流しながら取り組みました。



目を大切に



● 今月の保健目標である『目をたいせつにしよう』保健室前の掲示コーナーには
 ▼視力がさがると“こんなふうに見えるよ”
 ▼目のはたらき（まゆげ，まつげ，まぶた，なみだ）について
 ▼目のしくみについて・・・など，下の写真のようにイラスト入りで，低学年にも分かるような解説も付いています。子どもたちは，通るたびに視力を確かめたり，説明を読んだりしています。自分の体に関心をもつことも，健康づくりに大切なことですね。* ABCD・・・うさぎさんが見えるかな？

